

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校			
○保護者評価実施期間	令和6年11月16日 ～ 令和6年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和6年11月16日 ～ 令和6年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度の高い支援の提供	利用者の方、またその保護者の方が「楽しい!」「来てよかった」と思える支援を提供できるよう、日々研鑽し常に職員全体で情報共有を図っております。 また園や学校へ見学・訪問することでお子さまのことをよく知り、細やかなところに手が届く支援を目指しております。	今後も「楽しい!」「来てよかった!」と、安心して通っていただけるよう、職員一同取り組んでまいります。 小集団の毎月開催していくことで、個別と集団両方の観点からよりご満足いただける支援を提供できるよう取り組んでまいります。
2	相談しやすい環境と職員との関係の構築	支援の内容のほかに、細かな情報においても職員間で共有を図っております。そのため、ご家庭内での困りごとをはじめとした様々な相談に対応できるよう心掛けております。	フィードバックの時のみならずいつでもお話ができるような関係性を引き続き構築してまいります。 成長していく過程においてさまざまな場面に直面していきます。ご家族の方をもサポートすることが将来を見据えての支援になると考えておりますので、今後もそのための環境作りをしてまいります。
3	多角的な視点での支援の提供	認定心理士や社会福祉士、保育士、児童指導員、教員等それぞれの経験や専門性をいかした支援を実施しております。さらに職員間で日常的に支援内容の共有、研鑽をおこなっているためニーズに応じた支援の提供を目指しております。	引き続き、今後もニーズに応じた質の高い支援を提供できるように努めてまいります。そのため、時には教室間を越えての研修や外部での研修や講習を受講し、適宜OJTを実施することで職員ひとりひとりが自己研鑽に励んでまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設面での不都合	スペースが限られており支援のためのスペースが狭く、他の支援に影響を与えてしまうほかに、支援のいれ替えにも余剰スペースがないので時間がかかってしまいます。収納スペースの整理や適宜の片付けを日頃からおこなっておりますが、物理的な面積が広くないため限界があると感じています。	収納スペースの更なる整理を日頃から意識掛けていくとともに、他の支援に影響のないような広さを確保できるよう工夫してまいります。また上長へもはたらきかけ十分なスペース確保が可能な環境づくりをしてまいります。
2	避難訓練や感染症対策などの安全・衛生活動実施に対する周知	定期的な避難訓練・防災訓練を実施しておりますが、実施報告の周知ができておりませんでした。また感染症対策や嘔吐などが教室内であった際の対応についても実地研修をしております。 いつどんな時に非常事態が起きても、利用者の皆様の安全を第一に職員が活動していることを伝えることができておりませんでした。	今後はブログやSNS、教室に掲示において活動報告をしていきます。それ以外にも皆様の目に留まるような周知方法を考え取り組んでまいります。
3	体制の変化に伴うさまざまな影響	ご不安を与えてしまったことを改めてお詫び申し上げます。今後も皆様に丁寧に説明等おこなってまいりましたが、安心して通っていただけるよう努めてまいります。	小集団の開始、保護者会など少しずつではありますが実施してまいりました。今後も実施できるように努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校		公表日		2025 年 2 月 15 日		利用児童数		37名		回収数		19	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	3	0	0									
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0									
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	5	0	0	・個々のスペースを完全に閉め切るのは安全面からよくないとは思いますが、子どもが座っている場所から他の子どもや先生が視界に入らないように入口を狭めたり椅子の場所を設置した方がいいと思う。	・ご意見ありがとうございます。椅子などの位置は気を付けておりますが今後一層気を付けてまいります。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	0	・トイレ・洗面台いつもきれいでいい印象をいつも感じています。	・ありがとうございます。皆様に心地よくご利用していただくために継続してまいります。							
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	3	0	0	・先生のスキル差を感じます。子どもの発達状況、先生に何ができて何ができないかをわかった上で支援してほしい。 ・職員の方の言葉のかけ方、関わり方など大変勉強になります。家族でも同じように行うとスムーズにいくこともたくさんありました。	・ご意見ありがとうございます。支援のやり方はその子の情報についてもさらに細やかに共有をして取り組んでまいります。 ・ありがとうございます。都度適した関わり方を今後も心掛けてまいります。							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	0	0									
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	3	0	0									
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2	0	2									
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	1									
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	2									
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	4	8									
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	1									
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	3									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	3	5	・今回の保護者会には参加できず残念でしたが、親向けの研修会もありましたらありがたいです。	・ご意見ありがとうございます。FB内でお伝えするほかに、保護者の皆様が気軽に集まれる機会を今後ちてるように取り組んでまいります。							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	15	3	0	0	・子どもの普段の様子を聞いてきてくれる先生もいるし、聞いてこない先生もいます。	・ご意見ありがとうございます。FBの中や来所時など、状況に合わせて何うよう心掛けます。							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	1	・職員の方から「最近どうですか?」と話しかけてくださるので、ちょっとしたことで話しやすくなり、ありがたいです。	・ありがとうございます。ちょっとしたことが私共といたしましてとても大切なことだと感じております。今後も継続してまいります。							

護 者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・保育園での子どものこととても困ったときにまず最初に相談しようと思ったのがきりりさんでした。いつも共感的に話を聞いてくださったり、助言をくださったりするので子育ての悩みが軽くなります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	1	5	・小集団に参加してみたいと思った。	・ぜひご参加ください！ご都合合わない場合でも日程のご意見としていつでもご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	4		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	1	11	・避難訓練が先生方だけで行われているかどうかは知りません。	・ご意見ありがとうございます。事業所として、避難訓練(火災・地震など)や感染症対応などは定期的に実施しております。利用者の皆様への発信としては、今後小集団のプログラムに取り入れる予定を組んでおります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1	1	10		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	1	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	1	5		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校			公表日		2025 年 2 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・パーティションでの仕切り方で支援に応じたスペースの確保を行っております。	・相談室が物で占拠されており、充分なスペースが確保できておりません。過去の資料を整理、断捨離を行い早急な整理をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・認定心理士や社会福祉士、保育士、児童指導員、教員等それぞれの経験や専門性をいかした支援を実施しております。また加配や専門実施職員等充分な職員配置を実現しています。	・児発管や休職者を含めると9名おり、校舎スペースを踏まえるとなかなり人員過多な状況です。訪問支援等新規事業を開始するか広い物件を検討する必要がある状況のため協議中です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・災害時なども想定したうえで、動線における安全性は確保しております。	・バリアフリー化は建物自体がなされていないため、階段の使用での来所をお願いしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○	・校舎内の掃除は毎日行っており、清潔を保っています。 広さとしては決して広くはありませんが、パーティションでの仕切り方でそれぞれに応じたスペース確保をめざしています。 ・適宜空気の転換を行い感染症対策を実施しています。	・どうしてもスペースが限られており、物がきちんと収納できていない状況です。また支援スペースも狭く、他の支援に影響を与えてしまう。支援のいれ替えにも余剰スペースがないので時間がかかってしまいます。収納スペースの整理や適宜の片付けを日頃から意識掛けていく必要性があります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	・相談室はありますが、物に占拠されており充分な場所が確保できておりません。パーティションを組み合わせスペースを用意し適宜対応しています。	・個室はありますが使用できるスペースが確保されていません。 ・広さの関係で同時4支援が難しく、そのようになってしまう場合が保護者の方にご了承を得るようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日のMTに加え毎週1回会議を実施しております（運営や周知、支援毎に会議内容を設定）。	・7月より職員体制が大きく変わり、新たな体制下のもと目標設定と計画を策定中です。皆前向きに、協力的に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを会社として毎年実施し、その結果を講評しています。	・アンケート内容に関しては、職員会議を開催し、頂いた結果を共有し改善できるよう努めてまいります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な職員面談の実施や会議を開催し、個々の意見を表明したり、発信できる機会を設定しています。	・事業所管理者だけでなく、地域を管轄するマネージャー職との面談も適宜実施しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・実施しておりません（内部監査のみ）。	・第三者評価に関しては会社として導入を検討していくよう上長に働きかけます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内の研修が多岐にわたり用意されており、職歴や役割、経験等に応じた研修を受講する事が出来る機会が与えられています。	・法人外であっても必要性に応じて研修への受講が可能な環境が整っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・今後対応の予定です。	・令和7年度からの義務化に向けて会社全体で対応できるよう準備を進めている状況です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントやモニタリング、個別支援計画等の会社として統一した様式が準備されており、それらのツールを使用し丁寧に個別のご要望を聞く事を意識して取り組んでいます。	・半年ごとのモニタリングを基本としながらも必要性に応じて適宜更新していくことを心掛けています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・支援会議だけでなく日ごろから情報や支援方法を共有する事を大切にしています。また個人ではなくチームとして、事業所として支援をおこなう事を意識しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援内容については適宜状況を共有しています。	・建設的に意見交換が出来る風土や仕組みづくりを進めてまいります。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・統一されたツールを用いて実施出来ています。また支援や利用者さんの様子については、記録とは別に必要事項の引継ぎを行っています。	・日常のMTや定期開催される会議上だけでなく日頃から皆で共有する事を意識しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域との繋がりを明記した個別支援計画を作成しています。	・統一されたツールを使用し作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的な会議を実施、チームとして立案する仕組みを作り共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・可能な限りいろいろな職員が支援にはいる体制をとっております。そうする事でプログラムの引継ぎや見直しを確実に出来る機会を設定しています。	・どうしても固定化される職員や利用者さんがいるのも事実です。人生や支援の選択肢を増やしていくためにも意図を説明し、対応できるよう努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・職員体制が変更し、しばらく休止しておりましたが、昨年下半年から小集団を再開しています。	・今後定着していけるようにプログラムや日程設定などを職員間で話し合っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝ミーティングを行い、前日の支援とその日の支援についての振り返りや共有、その他伝達事項などを全員で実施しております。	・今後も継続して実施していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	また、毎週決められた曜日において支援内容に特化した会議なども実施しており常に全体化を図っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援の準備から記録の用意を心がけています。	・定期的に記録を確認する体制や仕組みを作る必要があると考えています。また記録の書き方等を事業所として統一した対応を定める機会が必要です。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に限らず、変化や要望があった際には適宜見直す事を意識しています。	・体制の変更もあり、書類の整理に追われまだ流れが作りきれいていません。今年度中にはその流れを作る事が出来るよう努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や専門的支援職員が出席するようにしています。	・他機関との連携は必須だと考えています。今後とも積極的に出席できるよう努めてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・見学の受け入れや会議を通しての連携はできているが不十分だと感じています。今後も積極的に参加できるよう努めてまいります。	・他機関主催の研修や勉強会にも積極的に参加していけるよう努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・併行利用している園や学校、関係機関と連携しての支援を実施し、情報共有や相互理解に努めております。	・今後も積極的に連携をはかり情報共有や相互理解に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・体制が変更して初めての対応となりますが、就学時期の該当者は複数名いらっしゃる状況です。事業所としてお力になれるよう積極的に連携を図っていきます。	・情報共有と相互理解が出来るよう連携し支援にまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	・療育センターとの連携はあるが、発達支援センターとの連携は出来ておりません。	・今後改めて挨拶に伺い、連携をはかれるよう努めていく予定です。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・現状実施はしておりません。	・近隣にもいくつか園がある環境なので、今後連携をはかれるよう関係性を構築していきたい所存です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援時のフィードバックだけでなく、電話やライン等の連絡ツールを使用し適宜状況や状態を共有しています。	・家族支援を算定できるような仕組みや体制をつくってまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・外部団体が主催するプログラムや催しについて、要望があった方を中心にご紹介しております。	・要望の有無に限らず、全体へ発信できるよう意識し心がけていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に丁寧に説明をおこなっています。また、不明点等あれば都度説明する事を心がけております。	・以前からご利用頂いている方や児発⇒放デイへと移行した皆さんへも改めてご説明してまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談を通して、あるいは日常の利用時から意向や希望をお聞きする事を心がけています。	・お子さん自身の気持ちや言葉を計画に反映出来るよう心掛けていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・アセスメントやモニタリング、個別支援計画原案、支援会議議事録、本計画等丁寧に説明し、同意頂いております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な面談に加えてご利用時、あるいは連絡を頂いた際にお話をお聞きしています。まずは傾聴し、安心していただけるよう心がけています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会をはじめて開催しました。今後定期的に開催し交流できる機会となったらと考えております。	・保護者間の交流を希望する方、しない方のそれぞれに配慮できるよう心がけていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・迅速に対応できるよう心掛けており、そのような申し出があった際には適宜共有出来る仕組みが整っております。	・適宜上長への報告も実施しております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・SNSの発信を定期的に実施しております。	・通信等紙媒体の発信（周知活動や教室内への掲示）も実施していきたいと考えております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・充分に留意しています。	・改めて十二分に留意するよう職員間での対応やルール作りを徹底してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・視覚情報やツールを活用し分かりやすい対応や伝達方法を心掛けています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・実施出来ておりません。	・事業所説明会や交流会等社会資源として、地域の皆さんにもご利用いただけるような機会を創出していきたいと考えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的に実施しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・フェイスシートにお書きいただいています。またFBの中でも保護者へ質問させていただくなどして、その後全体共有をしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・外部研修などにも赴き、全体でOJTを実施する予定です。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・研修も実施し環境にも留意しています。	・事業所が狭く動線が重なり混雑し、また収納場所が少なく物が散乱したりする事があるため、定期的に環境維持に努めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・ご家族等へ周知出来ております。	・実際の訓練が足りていないため、定期的に実施しその事を発信していきたい所存です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットシートへ記入し、全体で共有する仕組みが出来ております。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に虐待防止委員会が開催され参加しております。	・外部が実施する研修会への参加や事業所単位での定期研修を開催してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・利用契約時に重要事項説明書において説明を行っております。	・現状の利用されている方の中には身体拘束に該当する方はいらっしゃいません。